



秦莊中学校 学校通信

至誠

スローガン

「笑顔いっぱい、ともに学び、
ともに伸びる学校」

令和5年(2023年)

4月11日 第1号

発行者 久保田重幸

保護者の皆様 はじめに

暖かい春の陽射しが輝く好季節となりました。この学校通信「至誠」を、月1回程度のペースで発行します。どうぞお気軽にお読みください。少しでもお役に立てれば幸いです。「至誠」とは、本校の校歌にも歌われており「これ以上ないほどに誠実なこと」という意味で、昔から受け継がれてきた不易の校訓です。どうぞよろしくお願い致します。なお、10日始業式で話した内容を以下に記しますので、お読み頂けると幸いです。今後ともよろしくお願い申し上げます。



校舎前の桜

新2年生、新3年生の皆さん、進級おめでとうございます。この4月から秦莊中学校に参りました、校長の久保田です。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、今年度、私が、皆さんにがんばって欲しいことを2つ、お話します。まず、1つめは、「自分の目標を見つけてがんばること」です。私は、つねづね「学校とは、人が多くの友達と出会い、ともに学び、ともに伸びる場」であると願っています。特に、私たちは、3年以上にもわたるコロナ禍を経験したことで、友達の大切さや学校の大切さに気づくことができました。だからこそ、もう一度、その学校のよさを見直し、「友達とともに学び、ともに伸びる学校」を実現させましょう。そして、その実現の第一歩になるのが、「自分の目標を見つけてがんばること」です。目標をめざして、試行錯誤しながら、がんばることで、自分自身の成長につなげていきましょう。一方で、「まだ、目標なんか見つからない」という人もいるかもしれませんが、あわてる必要はありません。中学校生活の中で、小さなチャレンジを積み重ね、自分の目標を見出すのもよいと思います。焦らず、じっくり取り組んでいきましょう。

2つめに、皆さんにがんばって欲しいことは、「自分と友達の笑顔を大切にすること」です。私たちが、未来社会をたくましく切り拓くために、やはり、友達や仲間の支えは重要です。困難な課題であればあるほど、友達と協力する必要性が増してくるのではないのでしょうか。未来社会を、さらに平和で豊かな社会とするためにも、友達や仲間と協力することを大切にしましょう。特に、中学校生活では、自分を大切にすると同じように、友達や仲間の良さ、個性を認め合い、ともに「笑顔」でいられるような生活を実現させましょう。ここで、「笑顔」に関わる、うれしい出来事を紹介します。私は、4月の春休み中から秦莊中に来て、先生方とともに新学期の準備をしていました。そのような中、たぶん、部活動で練習に来た女子生徒1名が、初めて会った、新しい先生らしき私に、自ら、元気よく「おはようございます」と言ってくれました。私もすぐに、元気よく「おはよう」と返しました。私にとって初めての学校で少々緊張していたのですが、その挨拶で不安もやわらぎ、自分自身が「笑顔」になれるとともに、秦莊中の皆さんと一緒にがんばろうと思えました。この出来事からも、自分と友達の笑顔を実現することができれば、先に述べた「ともに学び、ともに伸びる学校」の実現につなげることができると考えます。私たち先生も、皆さんの素晴らしい個性を認め、皆さんの「笑顔」を大切にします。「笑顔あふれる学校」をめざして、ともにがんばりましょう。そして、今年度が終わった時に、自分の確かな成長を実感できる、そんな実りの多い一年にしてくれることをお願いして、始業の言葉いたします。しっかり、話を聞いてくれて、ありがとう。ともにがんばりましょう。

今年度、右の者が、新たに本校に転入しました。よろしくをお願いします。

校長 久保田 重幸 先生（県教育委員会より）

英語科 大橋 辰郎 先生（日野中学校より）

理科 市川 伊吹 先生（新規採用）

社会科 松谷 直宏 先生（豊日中学校より）

音楽科 小川 葵 先生（新規採用）

体育科 八木 佐太治 先生（彦根東高校より）